



令和5年6月28日

## 令和5年中の救急出場件数が過去最多を超えるペースで増加中！ ～救急車の適時・適切な利用をお願いします～

令和4年中の東京消防庁の出場件数は872,075件で、救急業務を開始した昭和11年以来、過去最多を記録しました。さらに本年は、過去最多を記録した前年を上回るペースで救急出場件数が増加中です。

救急出場件数が多くなれば、遠方の救急車が出場する確率が高まるため、現場への到着時間が遅れてしまい、救える命が救えなくなる恐れがあります。

緊急性がなく自分で病院に行くことができる場合は、公共交通機関や民間救急車を利用し、救急車の適時・適切な利用にご協力をお願いいたします。また、救急車を呼ぶか迷った場合や病院への案内を希望される場合は「東京版救急受診ガイド」や「#7119東京消防庁救急相談センター」をご活用ください。

都内の救急出場件数が急増した場合には非常編成した救急隊を出場させ対応している旨を周知しておりますが、今後は、救急出場体制の現状に対する理解を深めていただくとともに、救急車の適時・適切な利用を強く訴えかけることを目的として、「救急車ひっ迫アラート」というキーワードを活用した広報を実施していきます。

また、令和4年の夏季及び冬季は救急需要が急激に高まり、救急車の到着に時間を要している状況でした。このため、救急出場がひっ迫している状況下においては、非常用救急小隊の編成状況に応じて、呼吸をしていない、脈がない、窒息しているなど、緊急性の高い傷病者に優先して対応する「重症対応救急小隊」を編成し、直近で対応可能な救急車が不在時に出場させる運用を試行します。

問合せ先

東京消防庁(代) 電話 3212 - 2111  
広報課報道係 内線 2345～2349